



一 般 質 問

幹線道路網上新田木原線について



はなし こういち
葉梨 公一
議員

質問 一般県道上新田木原線（以下「上新田木原線」）の工事進捗状況と今後の予定は。

答弁（経済建設部長） 現在工事は、茨城県竜ヶ崎工務所が進めているが、県企業局県南水道事務所の導水管敷設計画があることや、一部道路の縦断修正が必要になる。そして、一番の課題が木原・浜の消防小屋が建っている場所が共有地であることがネックになっており、土地取得に多くの時間がかかるため、見通しがたたないというのが現状である。



一部供用開始となった一般県道上新田木原線

質問 上新田木原線を阿見町島津地先の圏央道アクセス道へ清明川土地改良区の水田沿いの農道を拡幅して通す考えは。

答弁（経済建設部長） 上新田木原線と連絡する道路としては、国道125号バイパスまでを結ぶ都市計画道路布佐・上宿線の整備事業を優先

して推進したい。

答弁（村長） まず課題の共有地の部分を解決し、上新田木原線を旧国道125号木原郵便局まで開通させることが今後の整備に向けて大事なことだと思う。これができればかなり早目の整備につながっていくと思うので、それには地元と村が一体となって協力し合い開通に向けて進めていきたい。

質問 安中・大山地区の現況から、大山東部地区への拡幅計画は。

答弁（経済建設部長） 茨城県竜ヶ崎工務所では、通学路の確保のため、大山の南田バス停から大山バス停の区間の歩道の整備を進めている。現状としては、明確な整備計画はない。

質問 国有地東京医科歯科大学付属分院跡地の払い下げと、その後の公園等の整備計画に伴っての上新田木原線の拡幅は必要と考えるが村の考えは。

答弁（経済建設部長） 村としても重要なアクセス道路となってくるので、拡幅整備は必要だと思う。県に強く要望していく。



道幅が急に狭くなる安中・大山地内